平成 19 年 3 月期　第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 8 月 11 日

上場会社名　日本開閉器工業株式会社　（JASDAQ・コード番号：　6943　）
（ＵＲＬ　http://www.nikkai.co.jp/　）
代表者役職・氏名　代表取締役社長　大　橋　智　成
問合せ先　責任者役職・氏名　取締役管理部長　赤　池　秀　樹　ＴＥＬ：(044) 813 ― 8026

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有
中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用いたしております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無
③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無　：　無
④ 売上高を除き、四半期財務・業績の概況は当期より作成しておりますので、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

２．平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日　～　平成 19 年 3 月 31 日）

(1)　経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円　%	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期第 1 四半期	2,052　(　8.0)	97	130	48
18 年 3 月期第 1 四半期	1,900 (△17.0)	―	―	―
(参考)18 年 3 月期	8,380　(　3.9)	1,022	1,123	677

（注）売上高におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円　銭	円　銭
19 年 3 月期第 1 四半期	5.81	―
18 年 3 月期第 1 四半期	―	―
(参考)18 年 3 月期	79.10	―

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期における経済情勢は、わが国においては企業業績の改善に伴い設備投資が増加し雇用情勢も改善するなど回復基調にありますが、原油価格の上昇、米国経済の減速懸念など不安定要因も抱えつつ推移しております。

産業用制御部品業界でも全体的には成長の加速を高めてきておりますが、「操作用スイッチ」に関してはまだまだその実感には乏しく、業界内における優勝劣敗が鮮明になってきているのも事実です。その中で当社グループは売上高 2,052 百万円と前年同期比 8.0%の増加となりました。主な要因はグローバルディストリビューターからの販売や中国工場が軌道化しつつあること、また IS（液晶表示付き押ボタンスイッチ）をはじめとする重点商品や特注品販売が順調に推移していることなどがあげられ、受注が先行していることから今後においても更なる売上の増加が期待されます。利益に関しては様々な投資が重なっていることや一部計画の若干の遅れがあることから予定よりも低めに推移しておりますが、特に今年度は中期経営計画「Quantum Leap 21」の最終年度であり、ひとつひとつの課題に対し確実に結果を導き出すことにより、着実に利益を積み重ねて行けると考えております。

(2)　財政状態（連結）の変動状況

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
19年3月期第1四半期	13,621	10,557	77.5	1,280.47
18年3月期第1四半期	－	－	－	－
(参考)18年3月期	13,892	10,746	77.4	1,300.36

(注)平成18年3月期の純資産には、少数株主持分は含まれておりません。

[参 考]
平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売　上　高	経　常　利　益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中　間　期	4,700	740	440
通　　期	9,600	1,520	910

(参考)　1株当たり予想当期純利益（通期）　107円34銭

[業績予想に関する定性的情報等]
　当社グループにおける当第1四半期は売上的には前年同期比で8%増加したものの、予定に対し若干低めに推移した感はありますが、売上に対し受注が先行していること、国内外の代理店からの外売りが好調であること、また秋口には、タッチパネル生産ラインの完成や新基幹システムのカットオーバーなど大きな付加価値を生むサービスインが待ち構えていること、中国工場が更に軌道化されるとともに外外販売によるメリットが増加すること等、これらより平成19年3月期通期業績予想数値を達成できると考えております。

○　添付資料
　　（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書

以　上

１．（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当四半期 （平成 19 年 3 期第 1 四半期末） 金　額	（参考） 平成 18 年 3 月期 金　額
（資産の部）		
Ⅰ　流動資産		
現金及び預金	4,672,259	4,799,213
受取手形及び売掛金	2,088,326	2,203,790
たな卸資産	1,973,288	1,935,412
その他	415,542	388,577
貸倒引当金	△3,324	△3,357
流動資産合計	9,146,091	9,323,635
Ⅱ　固定資産		
有形固定資産	2,478,236	2,524,920
無形固定資産	473,464	400,505
投資有価証券	1,366,715	1,482,090
その他	156,151	160,604
固定資産合計	4,474,565	4,568,119
資産合計	13,620,656	13,891,754
（負債の部）		
Ⅰ　流動負債		
支払手形及び買掛金	1,425,512	1,318,967
短期借入金	55,315	45,290
一年以内返済予定長期借入金	11,709	14,004
その他	778,460	861,790
流動負債合計	2,270,997	2,240,051
Ⅱ　固定負債		
長期借入金	17,820	17,820
退職給付引当金	200,529	225,230
役員退職慰労引当金	434,963	430,120
その他	139,564	209,974
固定負債合計	792,877	883,144
負債合計	3,063,874	3,123,196
少数株主持分	－	22,759
（資本の部）		
Ⅰ　資本金	－	951,799
Ⅱ　資本剰余金	－	833,305
Ⅲ　利益剰余金	－	8,588,392
Ⅳ　その他有価証券評価差額金	－	528,822
Ⅴ　為替換算調整勘定	－	△4,018
Ⅵ　自己株式	－	△152,502
資本合計	－	10,745,799
負債、少数株主持分及び資本合計	－	13,891,754

（単位：千円）

科　目	当四半期 （平成 19 年 3 期第 1 四半期末）	（参考） 平成 18 年 3 月期
	金額	金額
（純資産の部）		
Ⅰ 株主資本		－
資本金	951,799	－
資本剰余金	833,305	－
利益剰余金	8,514,174	－
自己株式	△152,502	－
株主資本合計	10,146,775	－
Ⅱ 評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	419,973	－
為替換算調整勘定	△29,714	－
評価・換算差額等合計	390,260	－
Ⅲ 少数株主持分		
少数株主持分	19,747	－
純資産合計	10,556,782	－
負債、純資産合計	13,620,656	－

２．（要約）四半期連結損益計算書

（単位：千円）

科　目	当四半期 （平成 19 年 3 期 第 1 四半期）	（参考） 平成 18 年 3 月期
	金　額	金　額
Ⅰ 売上高	2,052,303	8,379,764
Ⅱ 売上原価	1,243,046	4,516,801
売上総利益 （又は売上総損失）	809,256	3,862,963
Ⅲ 販売費及び一般管理費	712,154	2,840,493
営業利益 （又は営業損失）	97,102	1,022,470
Ⅳ 営業外収益	35,447	106,745
Ⅴ 営業外費用	2,153	6,319
経常利益 （又は経常損失）	130,396	1,122,896
Ⅵ 特別利益	0	497
Ⅶ 特別損失	233	31,935
税金等調整前四半期（当期）純利益 （又は税金等調整前四半期（当期）純損失）	130,163	1,091,458
税金費用	83,454	416,202
少数株主損失	1,260	2,016
四半期（当期）純利益 （又は四半期（当期）純損失）	47,968	677,271